

令和4年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和高等学校）

（学校番号 s 4 7）

目指す学校像	中高一貫校として特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開し、明るく活力があり、高い志をもって輝き続ける生徒を育成する。
--------	---

重点目標	1 中高一貫校の特性を活かした質の高い学びを展開する。 2 「文武両道」の理念に立ち、調和の取れた教育活動を進めるとともに、第1志望の進路を実現する。 3 国際理解教育の充実と開かれた学校づくりの推進を図る。
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価（2月1日現在）	
年 度 目 標	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度
1	<p>【現状】 中高一貫校の特性を活かした多様な教育活動を進め、内進生と高入生の切磋琢磨により進学実績も向上している。</p> <p>【課題】 新学習指導要領や高大接続改革等を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」や「個別最適な学び」の実施、英語4技能の向上への取組、ICT活用等による学習方法の工夫改善を着実に進める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫校の特性を活かした指導の充実 ・中高連携した授業の充実 ・新学習指導要領や高大接続改革、ICT活用等を踏まえた多様な学習方法の工夫 ・教員の指導力向上と授業改善による質の高い学びの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①中高合同の教育活動を充実させる。 ②高校教員による中学授業などにより連携の充実を図る。 ③1,2年生に全員導入したiPadを授業で活用する。また、ICT等を活用した学習支援が図られたか。 ④観点別学習評価等、新教育課程実施上の諸課題を検討する。 ⑤AL等による授業改善や大学入試改革に対応した学習指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①評価アンケートでの肯定的回答数(率)。 ②中高連携授業の充実が図られたか。 ③生徒のiPad活用状況。ICT等を活用した学習支援が図られたか。 ④観点別学習評価が円滑に実施できたか。 ⑤評価アンケート「授業の満足度」等の肯定的回答数(率)。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の中高連携に対する肯定的回答率は75.4%で、前年度の71.9%より3.5%増加した。 ②授業の連携に加え、中学校の夏休み補習で高校生が学習支援を実施した。 ③教員アンケートで回答者の過半数が授業でiPadを活用したと回答。 ④職員会議内で研修会を行い、観点別学習評価について理解を深めた。 ⑤授業評価は、分かり易い、実力がつく、で約90%の高評価。やる気を引き出す、は82.9%が肯定。 	B
2	<p>【現状】 「第1志望を諦めない」高い志の育成を掲げ、学業、部活動、学校行事と「文武両道」にバランスの取れた教育活動を展開し成果を上げている。</p> <p>【課題】 高い志の育成に引き続き取り組むとともに、「心のケア」の推進や、「18歳成人」を踏まえて「生き方まで含めた進路指導」の充実を図ることが求められる。 また、働き方改革を踏まえつつ、伝統校としての良さを継承し、学校行事や部活動等、生徒一人一人の学校生活の充実を支援していくことが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高い志を育てる計画的で戦略的な学習指導、進路指導の実施 ・生徒、保護者と連携した、個に応じた指導の充実 ・働き方改革と部活動や学校行事の奨励と積極的支援 ・主権者意識を高め「生徒が主語となる」生徒指導の推進 ・「心のケア」を支える教育相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①「将来の選択」を充実させる観点から大学入学共通テスト「フル受験」を推奨する。 ②個人面談の充実を図り、生徒の意欲を引き出し、生徒や進路関連の的確な情報を提供する。 ③「部活動に係る活動方針」を踏まえ、積極的な活動支援を行う。 ④挨拶の励行、登下校の安全とマナー、いじめ防止、SNSの安全な利用等、生徒が自ら考えて取り組む生徒指導を推進する。 ⑤柔軟な日程調整等、生徒相談の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①大学入学共通テスト900点満点受験者数(率)。 ②個人面談を生徒一人につき年3回以上実施できたか。 ③部活動等の活動状況及び成果。 ④評価アンケート「生徒規律に関する項目」の肯定的回答数(率)。 ⑤不安を抱える生徒の学校生活を支援できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ①900点満点受験率は67.4%で、前年度より7.1%増加した。 ②担任と副担任が連携を取り、生徒一人当たり年3回以上の個人面談を全学年で実施できた。 ③部活動を市の方針に則って実施できた。体育祭、文化祭、修学旅行を感染症対策と両立して開催できた。 ④規律に関する肯定的回答93.4%、交通安全への意識も99.4%と肯定が多く、学校の生徒指導が機能した。 ⑤定期的に生徒相談委員会を開き情報共有を図るとともに、不安のある生徒をSCに繋ぐことができた。 	A
3	<p>【現状】 国際理解教育は、コロナ禍で海外渡航が困難な中、留学生との交流やオンラインの活用等、安全に配慮してできることを模索し実行している。開かれた学校づくりは、連絡メール(e-pa)やHPを活用し、生徒・保護者への情報提供や教育活動の発信を行っている。</p> <p>【課題】 生徒の安全に配慮しつつ、海外との交流や、国際的視野での教育活動を一層充実させていく必要がある。また、感染症対策に配慮しつつ、土曜公開授業、学校説明会やその他の地域連携の機会を活用し、本校の教育活動を積極的に発信していくことが求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育の更なる充実 ・さいたま市の国際交流事業等の積極的な活用 ・積極的な学校情報の発信 ・地域連携の充実 ・生徒募集の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①安全な計画に基づき、国際交流事業を推進する。また、SDGs及びSTEAMSの視点を取り入れ、「総合的な探究の時間」等を活用して、国際的視野で教育活動を展開する。 ②さいたま市の事業等の活用による国際交流機会の提供。 ③e-pa、HP等で学校の情報を積極的に発信する。 ④コミュニティスクール（学校運営協議会）の推進 ⑤土曜公開授業や学校説明会の内容を充実させる。 ⑥校外学校説明会や中学校訪問等の機会を活用し、中学生や保護者への積極的な情報提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①国際交流事業への参加生徒の満足度と無事故の実施。「総探」等における生徒の発表等の成果物。 ②市事業等への参加生徒数。 ③情報発信数と閲覧件数。 ④学校運営協議会の各学期1回の実施。 ⑤土曜公開授業の公開数、学校説明会の参加者数。 ⑥生徒募集活動の実施数。 	<ul style="list-style-type: none"> ①修学旅行における留学生との交流事業は生徒の満足度が大変高かった。「MUHSグローバルセミナー」も充実した活動ができた。米国姉妹校交流は3月に派遣再開の見通し。 ②市の海外交流事業参加者の過半数を本校生徒が占めた。 ③学校HPを6月にリニューアル。閲覧数は4月から1月までで54万件を超えた(前年度は約30万件)。e-paによる情報発信も積極的に行われた。 ④コミュニティスクール3年目として、1,2学期の学校運営協議会を滞りなく開催できた。 ⑤感染症対策と両立させつつ、土曜授業公開を中学生と保護者にも公開した。学校説明会は予定通りすべての日程を実施できた。 	A

学校関係者評価	実施予定日 令和5年2月7日 学校関係者からの意見・要望・評価等
	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい教育活動がなされている。教職員の高い志と矜持を感じる。 ・中学校の夏期講習で高校生が教える取組はとても良いと思う。 ・ICTを活用した授業を拝見し感銘を受けた。従来の授業の良さも引き継ぎつつ、引き続き取り組んでほしい。 ・ICTを工夫して活用することで、テストの採点時間の縮減等、教職員の負担軽減にも役立つのではないかな。
	<ul style="list-style-type: none"> ・担任と副担任が協力しての面談の充実が保護者としても大変ありがたい。今後も継続して取り組んでほしい。 ・生徒の登校時の様子を見ても、生徒の規範意識の高さが感じられる。廊下等、校内の清掃も行き届いていた。生徒が学校に自信と誇りを持っていることが感じられ、素晴らしいと思う。 ・コロナ禍の中でその時々々の情勢を見ながら、学校行事をなるべく正常の形で実施しようとチャレンジしていることは素晴らしいと思う。 ・教職員の生徒に対する熱意ある指導を大いに評価したい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・世界情勢が予断を許さない状況の中、オンラインから対面に柔軟に対応しつつ事業を展開している点を評価したい。 ・グローバルセミナーでは以前にもまして生徒たちの積極性が見られた。 ・交換留学生の存在は生徒にとって良い刺激になっていると思う。国内修学旅行でも国際交流ができたことは良かった。 ・志願倍率の高さから、市立浦和の魅力が外部へ十分に伝わっていることがうかがえる。今後も、生徒の活躍が見える学校説明会や、学校ホームページの高頻度の更新や内容充実などにより、引き続き積極的な広報活動を推進してほしい。 ・学校運営協議会で今年度話題となった地域連携については、自治会や近隣市立学校との連携など、来年度も研究を続けてほしい。